

ワイヤレスリモコン・ワイヤレス受信部
据付説明書

形式:LA-E1 PFA012D634
201801



安全上のご注意

- 工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく据付工事をしてください。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- ⚠警告 誤った取り扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が大きいもの。
- ⚠注意 誤った取り扱いをしたときに、傷害を負う可能性、または物的損害の可能性のあるもの。状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。
- 本文中に使われる「絵表示」の意味は次の通りです。

	絶対にしないでください。		必ず指示どおりに行ってください。
--	--------------	--	------------------

●お使いになる方は、この説明書をいつでも見られるところに大切に保管してください。移設・修理の場合、工事される方にお渡しください。また、お使いになる方が代わる場合、新しくお使いになる方にお渡しください。

警告

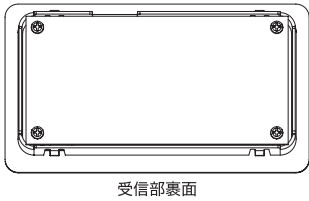
- 据付は、お買上げの販売店または専門業者に依頼する。
ご自分で据付工事をされ不備があると、感電、火災、故障の原因になります。
- 据付工事は、この据付説明書に従って確実に行う。
据付に不備があると感電、火災、故障の原因になります。
- 据付工事部品は必ず付属品および指定部品を使用する。
当社指定の部品を使用しないと、落下、火災、感電の原因になります。
- 据付は、重量に十分耐える所に確実に行う。
強度が不足している場合は、本機の落下などにより、ケガの原因になります。
- 電気工事は電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据付説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用する。
電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災などの原因になります。
- 据付工事は、必ず電源をしゃ断して行う。
感電、故障や動作不良の原因になります。
- 改造は絶対にしない。
感電、火災、故障の原因になります。
- 修理・点検に際して「電源ブレーカ」を必ず OFF にする。
修理・点検にあたって、電源ブレーカが ON のままだと、感電およびケガの原因になります。
- 特殊環境、可燃性ガスの発生・流入・滞留・漏れのおそれがあるところへ設置しない。
油・蒸気・有機溶剤・腐食ガス（アンモニア・硫黄化合物・酸など）の多いところや、酸性やアルカリ性の溶液・特殊なスプレーなどを頻繁に使うところで使用すると、著しい性能の低下・腐食による感電、火災、故障の原因になります。
- 大量の水蒸気が発生するところ・結露するところには設置しない。
感電、火災、故障の原因になります。
- 洗濯室など水のかかる所では使用しない。
感電、火災、故障の原因になります。
- ぬれた手で操作しない。
感電の原因になることがあります。

1

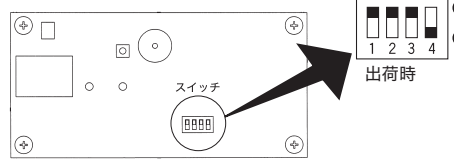
2 取り付け前の準備の続き

現地設定の変更方法

1. 受信部裏面のねじ（4 本）を外し、基板を取り外してください。
2. 基板上（7 セグ表面側）のスイッチを変更してください。



受信部裏面



ON
OFF
出荷時

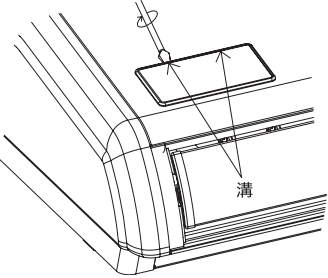
複数リモコン
使用時の親子設定

1 つのグループに対して最大 2 個まで受信部・ワイヤードリモコンを接続できます。その際は 2 つの受信部・ワイヤードリモコンのうち、いずれか一方の基板上的スイッチを変更し、子機設定とする必要があります。ワイヤードリモコンの設定変更は、ワイヤードリモコン付属の説明書をご覧ください。

3. SW1 を OFF にする場合はワイヤレスリモコン側も設定変更してください。
設定変更は、本説明書 ④ワイヤレスリモコンの「混信防止設定」をご覧ください。
- ※受信可能範囲は、本説明書 ⑤受信部 をご覧ください。

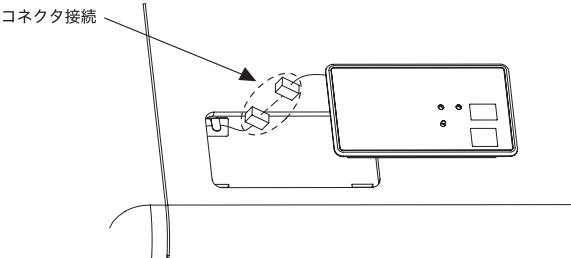
3 受信部の取り付け

本ワイヤレスキットの受信部は、パネルのカバーと交換することにより取り付け可能です。
注意: 本体吊り込み前に受信部を取り付けください。
吊り込み後に取り付ける場合、高所作業となり、転倒などによりケガの恐れがあります。



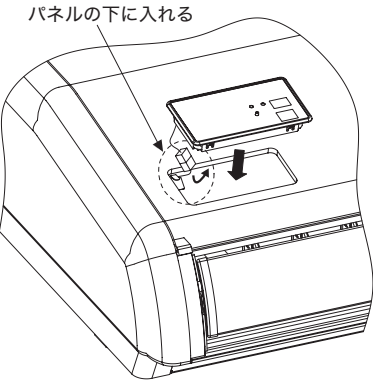
溝

- ① カバーを取り外し
カバーの溝（2 箇所）に工具を挿し、パネル塗装面を傷付けないように軽くねじると外れます。
- ② 配線の接続
受信部の配線とパネル穴部の配線を接続してください。
注意: 配線を固定しているクランプは外さないでください。



- ③ 受信部の取り付け
右図の様にコネクタをパネルの下に入れ、受信部の向きに注意し、パネルへ取り付けてください。

注意: コネクタは受信部を取り付ける前に接続してください。
取り付け後にコネクタを接続する場合、パネルを外す必要があります。



パネルの下に入れる

3

警告

- 本機を水洗いしない。
感電、火災、故障の原因になります。
- 配線は、所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように固定する。
接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。
- 病院・通信事業所などに据付ける場合、ノイズに対する備えを行うこと。
インバーター機器・自家発電機・高周波医療機器・無線通信機器などの影響により、誤動作や故障の原因になります。
リモコン側から医療機器・通信機器への影響により、医療行為の妨げ・映像放送の乱れや雑音の弊害が生じる原因になります。
- 基板のケースを取り外したまま放置しない。
水分・ホコリ・虫などが浸入すると、感電・火災・故障の原因になります。

注意

- ワイヤレスキットを下記場所に設置しない。
ワイヤレスキット故障や変形の原因になることがあります。
(1) 直射日光の当たる場所 (8) 蛍光灯(特にインバータータイプ)の近く
(2) 発熱器具の近く あるいは、直射日光が受光アダプタに当たる場所
(3) 湿気の多い所・水のかかる所 (9) 他の赤外線通信機器の光線が受光アダプタに当たる場所
(4) 取り付け面が発熱・結露する場所 (10) ワイヤレスリモコンの操作場所から見て、障害物に隠れてしまう場所
(5) 油の飛沫や蒸気が直接触れる場所
(6) 取り付け面に凹凸がある所
(7) 室内ユニットの吹出し空気が当たる場所

1 付属品

次の付属品を確かめてください。

ワイヤレス受信部 LA-E		
① 受信部		1
② 据付説明書		1
③ 配線		1

ワイヤレスリモコン（別売品）
RCN-D5

① ワイヤレスリモコン		1
② リモコン用ホルダー		1
③ 同上用木ネジ		2
④ リモコン用電池		2
⑤ 取扱説明書		1

2 取り付け前の準備

受信部の設定

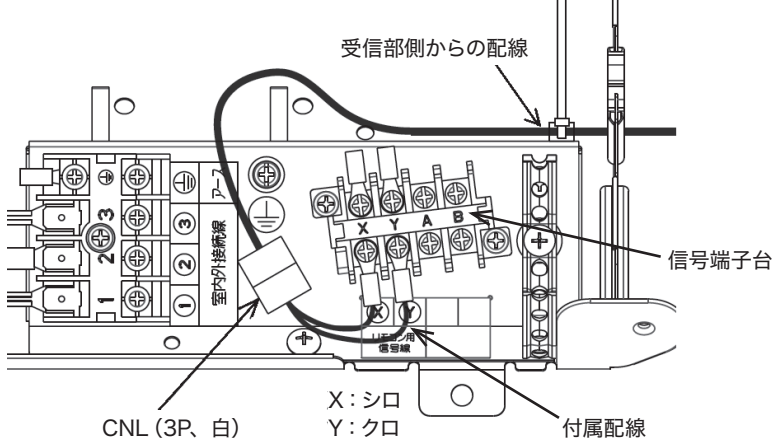
受信基板上のスイッチの設定は右記の通りです。
なお、出荷時の設定は ☐ で囲まれた設定になっています。

SW1	複数台設置時の混信誤動作防止	<input type="checkbox"/> ON : 通常 <input type="checkbox"/> OFF : 切換
SW2	受信部の親子切換	<input type="checkbox"/> ON : 親 <input type="checkbox"/> OFF : 子
SW3	ブザー音	<input type="checkbox"/> ON : 有り <input type="checkbox"/> OFF : 無し
SW4	停電補償	<input type="checkbox"/> ON : 有効 <input type="checkbox"/> OFF : 無効

2

4 コントロールボックス側の配線接続

コントロールボックス内信号端子台ⓧⓎの1次側（吸込グリル側）に付属配線を接続し、受信部側からの配線コネクタ CNL（3P 白）と接続してください。
※既に信号端子台からワイヤレス受信部側へ配線がつながっている機種は、この作業は不要です。



CNL (3P, 白)

X : シロ
Y : クロ

信号端子台

付属配線

4

